



東大阪大学柏原高等学校入学式（4/6）



村上学園では、校庭の桜が満開の中、四月二日（金）に大学・短期大学部、三日（土）に東大阪大学敬愛高等学校、六日（火）に東大阪大学柏原高等学校、八日（木）には附属幼稚園が、それぞれ入学式・入園式を行いました。昨年にも増して、新型コロナウイルスの感染が収束しない

入園・入学おめでとうございます

学校法人村上学園 村上学園のついで

二〇二一年（令和三年） 月 日発行
発行元（発行責任者）
学校法人村上学園 法人事務局
参事（広報担当） 寺川 誠
東大阪大学西堤学園町三二一
電話 〇六六七八一二四四四
URL <https://www.murakamigakuen.jp/>

☆紙面案内

- 1面：入園・入学おめでとう
ございます
新規採用者研修開催
- 2面：アスリート寮完成(1)
「あんしん」のたわごと
- 3面：アスリート寮完成(2)
- 4面：キッズファーム
編集後記

中、感染防止のための対策を取りながらの挙行でした。園児・生徒・学生や保護者の皆様には、おめでたい席にもかかわらず、入場制限やマスク着用、手の消毒、体温測定など、感染防止対策のためではあります。大変窮屈な思いをせざるを得なかったことにお詫び申し上げます。

附属幼稚園では、コロナ感染防止対策として密を避けるため、年少組（一部）と年中・年長組（二部）の二部に分かれての入園式となりました。にぎやかに欠けるところはあっても、保護者園児の皆さんには、晴れやかな気持ちになっていただけたものと思っています。



東大阪大学敬愛高等学校入学式（4/3）



生活を送っていただくために、私たちは、

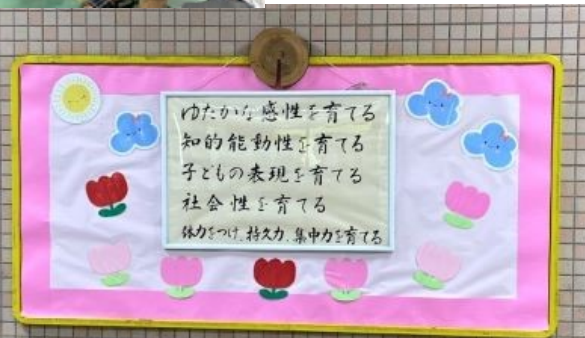
東大阪大学附属幼稚園入園式（4/8）



右の写真：年中・年長組の入園式上の写真：年少組の入園式

東大阪大学附属幼稚園の目標

- 豊かな感性を育てる
- 知的能動性を育てる
- 子どもの表現を育てる
- 社会性を育てる
- 体力をつけ、集中力を育てる



令和三年度 新規採用者研修開催（4/1）

ました。

四月一日、村上学園に新たに採用した教職員に対し、研修会を開催いたしました。研修会には、専任・常勤を含め新規に採用した教職員二名が参加、理事長の訓話や法人事務局長の講話など、緊張した面持ちで熱心に聞き入っていました。



理事長訓話

四月一日より、村上学園の一員として在学あるいは在園する園児・生徒・学生の成長に、一層力を傾けてもらいたいと思います。そのことが学園発展の大きな原動力になります。新規採用された



新規採用者研修受講風景

方々の力量に期待をしています。

新スポーツコース生徒寮

完成記念の胡蝶蘭

- ・キンキマネジ株式会社様
- ・スカイホーム株式会社様
- ・永和信用金庫様 より

各部屋に設置の洋式トイレ：洗浄・暖房便座がついており快適。毎日掃除をしきれいに使いましょう。トイレは、部屋の中で一番きれいな場所でないといけません。 **気を付けて!!**

寮生の居室：二段ベッドが四つ、8人収容可能な部屋。現在5～6名で使用しています。個人用ロッカー（貴重品ボックス付）と共同で使用する冷蔵庫も設置されています。

個人用ロッカー

冷蔵庫

各部屋に設置の風呂（シャワー付き）一人では十分な広さ。順番を決め仲良く入ろう。練習の汗を流してすっきり。

2～3階の廊下：1階の手すりは天井部分まであり、外部からの侵入はできないようになっています。左手は居室部分。端まですっきり見渡せます。要所には、防犯カメラを取り付けてあり、防犯対策は万全。

洗面所には手洗いの他、洗濯機が設置されています。部活動で汚れたユニフォームや練習着を即洗濯。但し泥などの汚れは事前に落としておいてね！

ミーティングルーム

壁面にはホワイトボードが設置されており、テスト勉強などの自主学習やクラブでのミーティングでの活用など、多様な用途に使用できます。大型テレビも設置されているので、プロスポーツの観戦にも活用できます。

エントランス：玄関から入るとエントランスとなっており、二階部分への吹き抜けになっています。壁面には、美術コース生の作品であるスポーツのイラストが描かれています。また、優勝カップや賞状等を飾るため棚を設置する場所も設置されています。正面のドアは電子錠となっており、防犯対策もばっちり。

「アスリート寮」の玄関

外環状線（国道170号線）、幹線道路に面しているため、交通には注意が必要。

新寮「アスリート寮」完成

屋上から南東方向を眺めると、二上山がくっきりと見える



既に、「村上学園NEWS」第一〇号、一二号で紹介して参りましたスポーツコース生の生徒寮「アスリート寮」（写真右下）が完成し、三月一五日から新寮での生活が始まっています。四月からは、新入生も入寮し、入寮者総数八一名での寮生活となっています。「アスリート寮」は、学校から国道一七〇号線（外環状線）に沿い、南に二〇三〇〇m行ったところにあり通学にも適当な距離と言えます。

本「アスリート寮」は、キンキマネシ株式会社様、管理運営会社としてのスカイホーム株式会社様のご理解と並々ならぬご支援の下、学校の多数の要望も取り入れながら、木造三階建、居室全一九部屋（八名／部屋）の生徒寮に特化した建物を建設していただきました。民間の資本を活用した学校関係施設の建設です。寮の側壁には「学校法人村上学園」「アスリート寮」の文字が取り付けられ、夜間にはライトアップもしています。

「アスリート寮」の施設には、ミーティングルームや管理人室、寮監が宿泊する部屋等が設置されています。また各部屋には、これまでの寮（敬愛館）では共同であった浴室やトイレも各部屋に設置されており、また、洗濯機・冷蔵庫も各部屋に設置されています。部屋の鍵は電子錠になっており、鍵を持

ち歩かなくてよく、紛失の心配がありません。また、各部屋にはWi-Fiが設置され快適な通信環境が整備されています。



このアスリート寮は木造ではありますが、屋上（写真右上）にも出ることができ、簡単な照明器具も取り付けてあるので、帰寮し、顧問管理のもと屋上でのトレーニングもできるようになっています。また、屋上から南側を眺望すると、二上山が目の前に迫って見えます。さらに、世界遺産に登録された百舌鳥古市古墳群も見え、良い眺めになっています。

新寮建設に携わっていただいた方々に感謝!!!

「学校園組織における民主化とは」

一、「安心して働き過ぎることができるようになること」

*責任をはっきりとすること

*秩序を大切にすること

*公平・公正であること

一、の属性として後の三つがあると考えます。

中心は一、「安心して働き過ぎることができるようになること」について

例えば、物を使ったら、それを元の所にきちんと戻しておくこととあります。「あるべき物が、あるべきところに在る」、そういう状態を崩さないということとあります。次に、それを使う者が安心して物事に取り組みることができるということが保障されているということ、それが組織として民主化されていることとあります。

また、壊れたら直ちに回復の措置をしないと、次の者が使えない。この分り切ったことの手立てが講じられていないのは、民主化されていないということとあります。安心が与えられる手だてが講じられてこそ、民主化が成立したと言えます。

*責任をはっきりとすること

あるべき物があるべきところに置かれている。無駄骨を折って探さなくてもいいように、使った者がちゃんと始末し、他の者が安心して仕事にかかれるようになっていくことを民主化と言いましたが、これは責任を果たしていることと同義なのであります。

民主化の意識と責任の意識とは表裏の関係です。従って、民主化意識の低い教師は、責任感の薄い人ということになります。

私の長い経験では、遅刻・早退が多くなり、学校の事情を考えずに、休暇を何回もとったり、始業のチャイムが鳴っても、タバコを一口吸ってからという責任感の乏しい行動は、民主化の低い教師にありがちでありました。

こんな教師に限って、授業の公開を嫌がり、プロフェッショナルの自覚なく、民主化とは権力との闘い、権力への抵抗、現体制の打破を叫び、まずい部分はすべて権力側（管理職）の責任と考える。アジテーターであり、民主化など言う資格のない教師であったのです。また、それに代わって格好良さを気にし、礼儀知らずでわがままであり、少しでも楽をすることが得だと考えるタイプであります。義務意識が希薄で、自己中心・利己的で機械的平等観に立ち、身上者の言うことを素直に受け入れようとしない等、いずれも民主化への意志や能力が貧困な

教師でありました。

*秩序を大切にすること

民主主義は、本来平等の精神から出発しています。根本的には人間に上もなければ下もないのであります。そこで、上下がないという「ことば」にひかれて、教職の場に無秩序をはびこらせる教師がいました。「我々は平等である」「校長も、教頭も、教員も同一ではないか」と主張する類で、教職の場の成員としての立場と一般社会における市民としての存在とが区別できない教師であります。

学校には、校長、教頭、教務主任、学年主任等々、というように一定の秩序があります。

それは、職務における責任を明らかにするため、それぞれの職場に適う秩序として、人間の英知が考え出してきたものです。そのことを理解せず、人が作らねばならない必要にして欠くことのできない秩序性というものを、無思慮に否定するひとは、物事を真剣に考えようとしないうちに刹那主義に陥っているか、民主化を志向する能力に欠けているかのいずれかであると言わなくてはならないのであります。

学校における民主化とは、例えば柏原高校の硬式野球部や敬愛高校の空手道部も同じです。監督がおり、コーチがおり、メンバーがいて、全体的統一が図られ、チームとしての力が発揮されるのです。教職員に於いての分別がはっきりしないと、学校の民主化等実現不可能であります。

*公平・公正であること

私たちの職場には、「一生懸命に働いた」「いや、十分な働きではなかった」という価値判断のギャップが生じやすいものであります。このギャップを適正に処理していかないと、働く教職員たちの客観的な仕事量の評価とともに、量的に測り得ない熱意・誠実・献身・熟練等々、見逃したり見誤らないようしっかりとした価値認識を怠らないようすべきであると考えます。

認められたい、認められたとする心情を大切にしないと、フラストレーション（欲求不満）が蓄積することになり、教職員に新鮮さがなくなり、民主化がはかられにくくなるものです。教職員が、公平感・公正感に包まれていることは、職場は明るく、活気に満ち、怠慢・虚偽・逃避というマイナス面がなくなるようになると信じます。

（故岡崎安伸先生の遺稿より）

「あんしん」のたわごと ⑨

～ 学校園組織における民主化とは ～

キッズファームでは野菜がすくすく育っています （東大阪大学附属幼稚園）



～ いちご狩り ～
子どもたちの歓声が聞こえてきそうです



キッズファームまでお散歩しながらいちご狩りに行きました。みんな、とびきり大きいいちごを探すのに夢中でした。自分のコップに、探してとった真っ赤ないちごを入れて、そーっと落さないように幼稚園まで持ち帰り、洗って食べました。去年はいちご狩りができなかったの、今年はいちごは格別の味でした。

春です！！ キッズファームでは、野菜たちが元気にすくすく育っています。東大阪大学附属幼稚園では、豊かなところを育む教育実践の場の一つとしてキッズファームを設置しています。キッズファームでは、季節に合わせた野菜等（いちご、ジャガイモ、エンドウ豆、ナス、さつまいも、トウモロコシ等々）を栽培しています。園児たちは土に触れ、さつまいもを植えたり、実ったものを収穫して食べたりと、自然を満喫、体験してもらうことで情操面での教育に大いに役立っています。キッズファームの日々の管理（土日も）は、園務員さんや園長先生たちが、多忙な仕事の合間を縫って行っています。大変だけれど、世話をして大きく育った野菜に触れる子どもたちの笑顔がうれしいそうです。



今日は年中組みんなでキッズファームまでお散歩いちごの可愛い白いお花や緑のあかちゃんいちご。少し赤くなったいちごを見て、いちご狩りはいつ始まるのかな～？と楽しみにしていましたジャガイモの生長を見たり、えんどう豆のなっている様子を見たり…。とうもろこしの苗の様子を見てから幼稚園に帰りました。



写真上：いちご畑のフェンス越しにいちごの観察
早く、いちご狩りができないかな？



写真上：元気に実ったエンドウ豆

写真右：エンドウ豆の観察



～ ナス ～



～ トウモロコシ ～



～ ジャガイモ ～

★編集後記

新型コロナウイルス感染症が収まりかけていたものが、またまた大きな波が寄せきて、緊急事態宣言を発生させるを得ない状況に陥っています。学園では、感染防止対策を十分取りながら、通常授業（両高等学校・附属幼稚園）を進めています。なお、大学・短大部においてはリモートによる講義を主体にしつつ、必要に応じて対面による講義も取り入れています。今後も気を緩めることなく、教育活動を進めて参ります。

さて、今号では、春は別れと出会いの季節ですが、一面で入学式と新規採用者研修の様子を紹介させていただきました。入学入園された皆様の清々しい気持ち、意欲に満ち溢れた心構え、また新規採用された教職員の皆様にも今のやる気に満ちた感慨を持ち続けてもらいたいと思います。「初心忘るべからず」

二・三面には、見開きで新たな施設として、民間事業者（キンキマネジ株式会社・スカイホーム株式会社）との協同事業により新設されたスポーツ生専用寮「アスリート寮」を取り上げました。アスリート寮に関しては、これまで二回にわたり掲載させていただいておりました。今回は、完成し四月から新入生も入寮した中で、寮生活が本格的に始まっている寮の内部施設・設備の紹介をしています。屋上からの景色や各部屋に設置されている風呂やトイレ、個人ロッカーや冷蔵庫・洗濯機、ヘッドなど写真で紹介しています。

スポーツに励んでいる中学生諸君本紙面をご覧ください、新築のスポーツ生専用生徒寮に入寮し、精一杯、自分の能力を開花させてみませんか。君の入学を待っています。

第四面では、長く本学園のシンボルとして生きていた鹿がなくなりましたが、その後継として、愛媛県伊予市にある栗の里公園（鹿牧場）より鹿三頭がやってくる予定です。掲載しようと思いましたが、残念ではありますが、新型コロナウイルス蔓延の影響もあり、五月中の搬送はできないとのことだそうです。

来園すればお知らせいたします。代わりに、季節は「春」なので、キッズファームの様子を掲載しました。

（編集者 寺川 誠）



<https://murakami.ac.jp/> <https://murakami.ac.jp/news/>